会 議 記 録			
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 山内
日 時	平成29年12月15日(金曜日)	開 議 閉 議	午前10時00分 午後 0時27分
出席委員	◎竹田 ○奥野 三上 田中 山本 小松 福井		
執行機関 出席者	藤村市長公室長、小栗人事課長、山内ふるさと創生課長、内藤人事課人事係長、 阿比留人事課給与係長、 木村企画管理部長、田中企画調整課長、浦財政課長、山本財政課副課長、今西財政課予算係長、 元古企画調整課企画推進係長、 田中生涯学習部長、伊豆田市民力推進課長、桂市民力推進課副課長、 大西総務部長、石田総務課長、森川自治防災課長、田中税務課長、谷税務課担当課長、 牧野自治防災課副課長、名倉総務課総務係長、 山本教育部長、和田教育部次長、片山教育総務課長、土岐学校教育課長、河原社会教育課長、 大石学校給食センター所長、中川教育総務課副課長、谷口学校教育課副課長、 亀井社会教育課副課長		
事務局	片岡事務局長、山内事務局次長		
傍聴	可	市民 1名 報道関係者 1名	議員 4名 (富谷、酒井、小川、西口)

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

2 事務局日程説明

10:05

3 議案審査

(市長公室 入室)

10:12～

【市長公室】

(1) 第1号議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第4号)

市長公室長   あいさつ
ふるさと創生課長   説明

《質疑》

＜福井委員＞

移住促進拠点開設準備経費として150万円が計上されているが、当初から建物を造ってやっていこうと計画していた中で、なぜ今回、補正で上がってきているのか。

＜ふるさと創生課長＞

当初から、建物が完成する少し前の時点で、ホームページの作成等をしていかなければならないということはあったが、今回、国の地方創生推進交付金を財源として、事業を進めていこうとするものである。

(質疑終了)

(2) 第8号議案 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

人事課長 説明

《質疑》

<福井委員>

今回の条例改正に該当する事例はあるのか。

<人事課長>

現在、対象となる非常勤職員で、育児休業を取得している者が2名いるが、まだ、子どもが1歳にも達していないので、そのような事例はない。

<三上委員>

基本が1歳というのは変わらないのか。

<人事課長>

育児休業については、原則、子どもが1歳までの期間となっている。

(質疑終了)

(3) 第17号議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

人事課長 説明

《質疑》

<三上委員>

優秀な職員の確保や、勤労意欲を高めるためにも、処遇改善は重要と考えるが、本市のラスパイレス指数はいくらか。

<人事課長>

今、暫定ではあるが、98.8%となっている。

前年度より0.4%上昇している。

(質疑終了)

(4) 第20号議案 亀岡市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(5) 第21号議案 特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

人事課長 説明

《質疑》

<福井委員>

若年層に重点を置いた給与月額を増額改定ということだが、もう少し詳しく説明願う。

<人事課長>

今回の人事院勧告では、本給の給与月額のアップについて、400円を基本としているが、主事・主査級の若年層については、給与月額が1000円アップとなっている。

<福井委員>

人数的には、どれくらいの人数が対象となるか。

<人事課長>

今、資料を持ち合せていないのでわからない。

<竹田委員長>

わかれば後ほど報告願う。

<三上委員>

議案に記載されている給与表でいえば、どのあたりになるのか説明願う。

<人事課長>

1級が主事、2級が主査、3級が主任、4級が係長、5級が副課長、6級が課長、7級が部長となる。

<三上委員>

若年層は何級になるのか。

<人事課長>

1000円アップするのは、1級の1号給から56号給まで、2級の1号給から24号給まで、3級の1号給から8号給までとなっている。

(質疑終了)

10:30

(市長公室 退室)

(企画管理部 入室)

10:32～

【企画管理部】

(1) 第1号議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第4号)

企画管理部長 あいさつ

各課長 説明

《質疑》

<三上委員>

企画推進経費の業務委託料について、京都府と共同で取組みを進めていくということだが、京都府との持出しの関係はどうか。

<企画調整課長>

経済産業省の地域未来投資促進法に基づく基本計画の同意は得られており、その基本計画を進める上での地方への財源措置として、地方創生推進交付金が活用できるということで、京都府とともに申請を行ったところである。

当該交付金を活用して、事業計画作りを京都府とともに進めていこうとしているが、

京都府はスタジアムを拠点とした計画であり、亀岡市はその周辺のまちづくりの計画となっている。それぞれの計画内容によって事業費も変わってくるが、別々に進められるものではないので、京都府とともに進めていきたいと考えている。

費用負担の割合については、計画の内容によって、精査をして決めていきたい。

<三上委員>

京都府の計画は、別に業務委託で行われていて、今回の300万円の業務委託とは関連はないということでしょうか。

共同制作ではないということでしょうか。

<企画調整課長>

今回、亀岡市の必要な計画を作る委託料として予算を計上しており、京都府は京都府として進めていただいているが、計画策定を進める上では、京都府と協議しながら進めていくということである。

<三上委員>

京都府と一緒に計画を立てて、採択されたら、共同の計画に対して交付金が下りてくるのか。

<企画調整課長>

この地方創生推進交付金は、広域連携事業という枠組みの中で申請を行っているが、京都府とすべて一緒に事業を行うということではない。

基本的には、亀岡市が実施するスタジアム周辺のまちづくり事業として、進めていきたいと考えている。

<三上委員>

今回の交付金は、建物等に充当する場合に有利というふうに聞いたように思うが、そういうことであれば、結局、京都府のスタジアム建設の方に全部持っていかれるということにはならないのか。

<企画調整課長>

地方創生推進交付金の枠組みとしては、事業費ベースで、都道府県では年間6億円の枠があり、市町村には4億円の枠がある。その市町村の枠を京都府の方に持っていかれるということにはならない。

亀岡市はあくまでスタジアム周辺のまちづくりを進めていく事業に、財源を充てていくこととしており、亀岡市が交付金を獲得して、京都府を支援するというものではない。

<福井委員>

根本的に、300万円をかけて計画を作り上げる必要性はどうか。

また、歳入で150万円を当て込んでいたが、それがなくなったのに予算書には150万円が上がっている。それをどう埋めるのか。

<企画調整課長>

事業計画の策定にあたって、地方創生推進交付金の申請を行い、採択を受けての事業計画であったが、残念ながら不採択となった。

不採択の理由は公表されていないが、今後、京都府と協議しながら、事業計画を見直していく必要があると考えている。

そのためにも、市が進めていこうとする基盤整備事業の必要性を国に認めてもらわなければならないので、事業計画をよりわかりやすくするために、ICTを活用したまちづくり等を具現化し、計画を作成していきたい。

財源については、不採択という状況の中で、亀岡市が京都府との広域連携事業で受けている、観光推進に係る地方創生交付金があるので、京都府全体の枠組みの中で、

それを取り込んで、財源確保に努めたい。

<福井委員>

地方創生推進交付金の採択、不採択は別にして、単費で300万円をかけてでも、計画を作成する必要性を、再度説明願う。

<企画調整課長>

スタジアムを中心としたまちづくりというのは、地方創生推進交付金の採択、不採択とは関係なく進めていくべきものであると考えている。

今回、事業を進めていく一つの手法として、経済産業省の地域未来投資促進法に基づく基本計画の同意を受けて、地域経済牽引事業を進めていくということに変わりはない。この事業を進めていく上で、より具体的なまちづくり計画を策定して進めていかなければならないことから、今回の業務委託により、事業計画を策定する必要があると考えている。

<企画管理部長>

基本計画は認めてもらったが、中身はまだ具体的にはなっていない。

一般質問に対して、市長から、一定の事業費を見込んで、交付金を活用していきたいという答弁があったが、その事業費のベースになるのは、保津川かわまちづくり等のすでに計画していた事業である。それらの事業に対しては補助率が40%であるが、この交付金では50%の補助率となり、補助裏の市債の交付税措置も少し高かったことから、こちらに乗り換えることが得策であるということが1点あった。今回、この計画が認められなかったが、計画期間は6年あり、交付金事業は5年あるので、少しでも有利な財源を取り込んでいけたらと思っており、京都府も同じ考えである。

交付金が不採択となったことについては、京都府とともにその原因を探っていかなければならないし、国の方にも聞きにいきたいと思っているが、そのベースとなる事業と効果をより具体化するために、計画策定の委託を行っていきたいと考えている。

財源については、すでに内示をもらっている地方創生の交付金の枠の中で、充当できないか探っていきたいと考えている。

ただ、費目が異なるので、歳入、歳出ともに予算を計上しないと、執行ができないということである。

当初は純粹に交付金を取りに行っていたが、不採択となったことで、違う方策で財源を取り込んでいきたいと考えているところである。

(質疑終了)

(2) 第17号議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

財政課長 説明

《質疑》

なし

10:59

(休憩)

10:59~11:05

(再開)

(冒頭に第20号議案(市長公室所管)に係る報告)

<議会事務局次長>

先ほどの第20号議案に係る質疑の中で、給与月額が1000円アップとなる若年層の人数について、質問をいただいたが、一般会計の給与支給職員571名中、主事・主査級は144名で、全体の約25%ということで、主管課から回答があったので、報告させていただく。

(生涯学習部 入室)

11:06~

【生涯学習部】

生涯学習部長   あいさつ
市民力推進課長   説明

《質疑》

<三上委員>

台風21号による被害について、現状復帰はまだで、これから修繕を行うということでよいか。

<市民力推進課長>

まだ、被害を受けたそのままとなっている。

(質疑終了)

11:09

(生涯学習部 退室)

(総務部 入室)

11:11~

【総務部】

(1) 第1号議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第4号)

総務部長   あいさつ
各課長   説明

《質疑》

<福井委員>

気象情報システム雨量計について、止まっていることが多いが、どうなっているのか。

<自治防災課長>

定期的に点検しているが、確認させていただく。

<総務課長>

光ファイバーで情報を集めており、それが断線した時に止まることがある。

<三上委員>

今回の台風21号により、住宅等に被害を受けた市民からの問合せ件数は、どれくらいあったのか。

<自治防災課長>

現在までの問合せ件数は、店舗等を含めて141件で、うち補助金の対象が41件であった。

<三上委員>

自治防災課において、現場確認はされているのか。

<自治防災課長>

問合せのあった箇所は、基本的に、すべて確認している。

(質疑終了)

(2) 第15号議案 亀岡市南つつじヶ丘コミュニティセンターに係る指定管理者の指定について

自治防災課長 説明

《質疑》

<福井委員>

南つつじヶ丘コミュニティセンターの利用件数はどのくらいか。

<自治防災課長>

利用件数は、

平成26年度 325件

平成27年度 593件

平成28年度 690件

となっている。

(質疑終了)

11:27

(総務部 退室)

(教育部 入室)

11:29～

【教育部】

(1) 第1号議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第4号)

教育部長 あいさつ

各課長・所長 説明

《質疑》

<福井委員>

小学校の学校運営経費で、嘱託用務員報酬が200万円減少して、業務委託料が150万円増加しているが、これは用務員が雇えなかったため、シルバー人材センターに業務を委託されたということか。

<教育総務課長>

そのとおりである。

当初は嘱託職員を任用して配置する予定であったが、任用ができなかったことによ

り、業務委託を行うものである。

<福井委員>

給食センター管理経費や学校施設管理経費で、電気代の増額についての補正ということであったが、当初に見込めなかったのか。

<教育総務課長>

当然、当初予算に所要額を計上しているが、電気料金の中には燃料調整費というものが、それが月々変動している。今年度に入ってからその燃料調整費が増加傾向にあり、当初の見込額より不足が生じる見込みとなったことから、今回、補正を行うものである。

<竹田委員長>

学校給食センターも同じか。

<学校給食センター所長>

そのとおりである。

<福井委員>

幼稚園の就園奨励費について、これも当初の予算計上が少なかったので、今回、増額補正するというのではないのか。

<教育総務課長>

昨年の今頃がちょうど当初予算を見込む時期であったが、それ以降の入園の希望者、あるいは、すでに入園されている方々の所得階層の変更等に伴い、補助額、単価等が変動してくる。

今年度中に入園された方の補助金も含めて、予算計上を行ったものである。

<福井委員>

文化財保護経費について、ほ場整備事業に伴う文化財発掘経費であると思うが、縮小という説明があったが、事業が実施できないということではないのか。

<社会教育課長>

地元調整により同意が得られなかったので、発掘調査を行わないことになったということである。

<福井委員>

ということは、いずれまた実施するということでよいか。

<社会教育課長>

そのとおりである。

<三上委員>

ガソリンの値上げ等についても今回の補正で賄えるのか。

<教育総務課長>

現時点では賄えると考えているが、ただ、気候のことでもあるので、年が明けて1月、2月の気温の状況を見極めていきたいと考えている。

(質疑終了)

(2) 第9号議案 亀岡市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について

社会教育課長 説明

《質疑》

<田中委員>

午後6時30分まで延長して、どれだけの利用人数を見込んでいるのか。

<社会教育課長>

昨年度のアンケート結果によると、現行の時間でよいとする人が7割、延長してほしいという人が3割という回答が出ているので、約3割のニーズがあるものと思っている。

<田中委員>

30分延長した場合の指導員の確保は万全か。

<社会教育課長>

延長保育で人数が少なくなるによりクラスをひとまとめにし、支援員体制を縮小することによって、毎日勤務でなく交代制で勤務できるということで、一定、支援員、補助員の理解を得て、取組みを進めていきたいと考えている。

(質疑終了)

(3) 第10号議案 亀岡市野外活動施設条例の一部を改正する条例の制定について

社会教育課長 説明

《質疑》

なし

<学校教育課長から、亀岡市立亀岡中学校「若木の家」の運用見直しについて別添資料に基づき説明)>

11:54

(教育部 退室)

(休憩)

11:54~12:00

4 討論～採決

(委員間討議)

<三上委員>

企画管理部の企画推進経費について、不明瞭で、うやむやなところがあるので、他の委員の意見を聞きたい。

<竹田委員長>

何がうやむやなのか説明願う。

<三上委員>

計画策定の必要性や、それを業務委託で行うという問題、歳入で当て込んでいたものがなくなり、今後確保していかなければいけないこと、計画そのものの内容がまだないということ等である。

<福井委員>

今、三上委員の言われたことは、私も同じように疑問に思っていた。

ただ、説明を聞いて納得できたと思ったのは、かわまちづくり等の計画がもともとあって、交付金を4割当て込んで、前向きにやっという流れがこれまでからあった中で、今回の業務委託は、地方創生推進交付金を取るための300万円ではないということは理解できたように思う。

確かに当て込んでいた交付金が取れなくなったので、300万円の財源をどうするのかという問題はあるが、前向きに考えていくしかないのかなと思う。

それがどういう効果を生むのかという説明については、完璧であったとは思わないが、もともとあった計画をより有利にしようとする中で、それがたまたまタイミングとしていけると思っていたものが、いけなくなったということである。

私も三上委員の言われていたような疑問が頭の中を占めていたが、説明を聞いてそうではないのかなと思ったということである。

<三上委員>

今まである計画をそのままという話なのか、検証しないとわからないところがある。特にあの場所は議論のあった場所なので、計画の全容を明らかにしてもらいたいという思いがある。

交付金を乗り換えるということもわかるし、今回の話では、夏の時点で早急に概要を作って申請をして基本計画の同意は得たが、交付金の採択はされなかったということであり、ただ、来年度も採択を目指すので、具体的な計画にしなければならないということであるので、計画作成の必要性は理解できた。

その計画が、どこに、どういう形で業務委託して、どのようなものが出来上がるのかを聞けばよかったのだが、それができなかったことを反省している。

そのあたりを明らかにして、認めるか、認めないかを考えなければならない。

12:05

《討論》

<三上委員>

どの議案についても、概ね賛成の立場である。

第1号議案についても、賛成はするが、先ほど述べたような意見を付して、注視していきたいという思いを持っている。

《採決》

<竹田委員長>

賛成者は挙手願う。

第 1 号議案 (一般会計補正予算 (第 4 号))	挙手全員	可決
第 8 号議案 (職員の育児休業等に関する条例の一部改正)	挙手全員	可決
第 9 号議案 (放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部改正)	挙手全員	可決
第 10 号議案 (野外活動施設条例の一部改正)	挙手全員	可決
第 15 号議案 (南つつじヶ丘コミュニティセンターに係る指定管理者の指定について)	挙手全員	可決
第 17 号議案 (一般会計補正予算 (第 5 号))	挙手全員	可決

第20号議案（一般職員の給与に関する条例の一部改正）

挙手全員 可決

第21号議案（特別職員の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正）

挙手全員 可決

《指摘要望事項》

＜竹田委員長＞

指摘要望事項はあるか。

＜三上委員＞

基本計画は7月に作成されており、今までのかわまち等の計画を入れ込んでいるとはいえ、12月に特別委員会で報告はいただいたが、議会にもっと早く出せたという思いがある。

交付金を乗り換えるだけとはいえ、大事な施策であり、全体像や見直しなどを議会に諮るべきであったし、できるだけこのような計画については、議会にも市民にも速やかに明らかにしていく努力をしていただくよう要望したい。

＜福井委員＞

議会への報告というよりも、これから委託をする意義をしっかりと発信すべきであり、指摘するのであれば、今後の運営の仕方とか委託の仕方とかの方がよい。

＜田中委員＞

計画の全容を速やかに明らかにすべきと考える。

＜竹田委員長＞

今、それぞれ意見を言っていたが、この企画推進経費について、指摘要望を付けることを委員会の総意としてよいかを諮りたい。

指摘要望を付けることに賛成者の挙手を求める。

（挙手 2人）

＜竹田委員長＞

それでは指摘要望は付けないこととする。

委員長報告の作成にあたり、盛り込むべき意見があれば伺う。

＜田中委員＞

先ほど出ていた意見を盛り込んでいただくこととして、正副委員長に一任したい。

— 全員了 —

12 : 18

5 その他

（1）議会だよりの掲載事項について

— 下記のとおり決定 —

○第5号議案 一般会計補正予算（第4号）

・ふるさと力向上経費

・災害救助経費

○第9号議案 放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部改正

（2）議会報告会、わがまちトーク（自治会版等）の意見対応について

- ・わがまちトーク
    - 本梅町自治会（10／23）
    - 畑野町自治会（11／5）
    - 平成29年亀岡市成人式実行委員会との意見交換会（11／13）
- 別紙のとおり —

（3）次回の日程等について

<竹田委員長>

今回は12月22日（金）午前10時から、委員長報告の確認を願う。
併せて、1月の常任委員会（月例）の日程、テーマ等の決定をいただきたい。
他になければ、これで総務文教常任委員会を閉議する。

散会 ～12：27